

学校だより(9月号)

発行

【 2学期がスタートしました 】

今年の夏は、ことのほか暑い毎日が続きましたが、始業式には、子どもたちが日焼けした元気な顔をみせてくれました。夏休み中に日本列島へ台風6号、7号が接近してきた影響で、交通機関の運休により帰省や旅行などで急な予定変更になった方也有ったのではないでしょうか。

地域やPTAの皆様に、4年ぶりに「横堤縁日」を実施していただきありがとうございました。おかげさまで、子どもたちは楽しい思い出をたくさん作ることができました。この場を借りて厚くお礼申しあげます。

2学期は、運動会など、日頃の学習の成果を見ていただく機会がありますが、子どもたちのよさや可能性をさらに引き出していくよう、精一杯努めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いします。

【 家庭学習のすすめ 】

毎年6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されていますが、その結果から、家庭での学習の様子と学力との関係が示されています。例えば、令和5年度の結果では、「将来の夢や目標を持っていますか。」という問い合わせに対して、「持っている」といった肯定的に答えた児童の割合は**84.4%**と全国の割合を**2.9%**も高いというデータが出ています。

また「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という問い合わせに対して、「なりたい」と肯定的な回答が**97.2%**と圧倒的に高く、全国の割合の**95.9%**と比較しても高い割合のデータが出ています。

その一方で、「家で、自分で計画を立てて勉強していますか(学校の授業の予習や復習を含む)」の肯定的回答の割合は**61.4%**であり、全国の割合と比較すると**9.3%**も低い状況です。また、「学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか」の問い合わせに対して「1時間以上」と答えた回答の割合は、**50.4%**で全国の割合の**57.1%**より低い傾向にあります。

これらのことから、子どもたちの中に「夢や目標がある」、「人の役に立ちたい」といった高い志はあるが、その一方で「自分で学習」、「一定時間勉強をする」といった意識は低く、自分を十分高め切れていない傾向にある子どもの割合が多いということがわかります。

(全国学力学習状況調査の結果の分析と考察については、近日中に公表いたします。)

長時間の学習をすれば、将来全てうまくいくとは一概に言えませんが、**学習することが将来の「なりたい自分」の選択肢を広げることにつながる**ということを子どもに理解させたいものです。学校の授業だけでなく、家庭での学習状況が将来にわたって学び続ける力に影響します。「なりたい自分」に近づくために、「人の役に立つ」ためにといったことが実現できるように、**興味を持ったことを自主的に学べるような環境づくり**を子どもたちに家庭でも作っていく働きかけをしていただきたいと思います。

低学年は30分程度、中学年は45分程度、高学年は1時間程度できる課題に取り組み、家庭での学習の習慣を身につけることで、自分から進んで学ぶ楽しさを味わわせることが大切だと考えます。学習したことの定着を図るために、家庭の協力が必要不可欠です。保護者の皆様には、日頃から「本読みを聞いてサインをする」、「ドリルの丸つけの確認をする」、「励ましの言葉や感想を話す」などご協力をいただいているが、わずかな時間でも宿題の点検をするなど子どもたちの学習の様子を見ていただき、子どもの学習内容に関心をもっていただければと思います。

また、休日は、家族の方とともに、読書や楽器の演奏、家の仕事、博物館や美術館等の施設の見学など体験的な活動をしていただくことも、子どもたちの健やかな成長につながるでしょう。

今後も家庭と連携をしながら、子どもたちの学力のより一層の向上をめざしていきたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

